

第三回語りと音楽胡輪舎 二〇二三秋の公演



幸田文

語り、オーボエ、笙とピアノのための

草履

(二〇二三 初演)

# 人間の裏側のはなし

## 向田と幸田の場合

向田邦子

語り、笙とピアノのための

思い出トランプより

かわうそ

(二〇二三

初演)



2023 9/22 (金)

14:30 開場/15:00 開演

■料金/全自由席 前売り¥2,500 当日¥2,800

予約も承ります

■場所/小金井宮地楽器ホール 小ホール

(JR 中央線 武蔵小金井駅南口)

■主催/語りと音楽の会 ともだちや

■後援/小金井市

■お問い合わせ/こうち 090 (9972) 0474

Mail: komacht2@docomo.ne.jp

☞ 詳細は裏面を参照のこと

# ごあいさつ

胡輪舎 2023 年秋の公演を開催いたします。

草履

「胡輪舎」は語りと音楽の会ともだちやの中のグループとして2021年に第一回の講演を行いました。それ以降、ともだちやが大人も子供も楽しめる分かりやすいお話を取り上げているのに対して、もう少し深い大人の世界の裏側を覗くような物語を作り続けています。今回の公演では向田邦子の思い出トランプから「かわうそ」と幸田文の「草履」というふたつの物語を取り上げます。

向田邦子は言うまでもなく、放送作家として「だいこんの花」「時間ですよ」「あ・うん」「寺内貫太郎一家」などの多くのテレビドラマの脚本を手がけ一世を風靡しました。「かわうそ」は飛行機事故で不慮の死を遂げる前年の1980年に第83回直木賞を受賞した短編小説です。

幸田文は言わずと知れた明治の文豪、幸田露伴の次女です。立ち居振る舞いから箸の上げ下ろしに至るまで父の厳しい躰を受け、父の生前は書いた文章を父に読まれるのが恐ろしくて発表は出来ませんでした。父の死後、次々に作品を世に出し、その繊細な感性と観察眼に裏打ちされた江戸前の歯切れの良い文体で高い評価を得ています。

この二人による全く味わいの異なる二つの作品は、二人のものの見方によってそれぞれに人間の考えや行動が見せる心の裏側をざっくりと描き、一編の映画やテレビドラマを見るような読後感が鮮やかです。今回はこの二つのお話の朗読に、ピアノ、オーボエ、雅楽の笙という楽器でさながら映画やテレビドラマのように音楽を付けました。朗読と共に音楽で描く情景の世界は、きっと新しい感動をもたらすことでしょう。文学と音楽の織りなす物語の世界をお楽しみいただけますように、関係者一同心よりご来場をお待ち申し上げます。

## ■ 出演 語りと音楽の会 ともだちや (胡輪舎)



代表・語り  
たに かずこ



作曲  
小内 将人



笙  
村岡 健一郎(ゲスト)



オーボエ  
大木 雅人(ゲスト)



ピアノ  
樽谷 静香(ゲスト)



駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。